

< 第4回活動交流集会報告 >

大いに語ろう！地域に見える運動と仲間づくり

＝地道な活動に光が見えた！＝

第1グループ 報告者：水野 秧一郎

3月14日(土)水戸市青少年会館で行われた活動交流集会では、参加者26人が2つのグループに分かれ、経験交流や困難な実情を出し合い、有意義な時間を共有しました。

第一グループは、11地域12人が参加し、司会に東海に加藤さん、書記に阿見の水野が選ばれ進めました。

最初は一人30秒で自己紹介、その後特別に課題を提起することなく始めました。

最初の発言者が、「会費徴収が大変困難です。他のところはどのような方法をとっているのか？」との報告に対して、
・会費集めは何人かで分担しているが地域が広がって楽ではない(鹿行)。
・2ヶ月に1回、役員会を開き事務局員で集金に歩く(美和・緒川)。
・3ヶ月に1回全員に呼びかけて定例会を開催し、参加できなかった会員を訪問して集めている(阿見)。

組織問題

- ・市町村合併で、水戸と笠間に行政区が2分された、基礎組織の組み立てが必要になってきたが、名案が見当たらない(内原・友部)。
- ・広大な地域で一つの基礎組織なので、複数の組織にしたいが中心になる人がいない(鹿行)。

地域活動

- ・重税反対・集団申告など定例の地域活動に取り組んでいるが、民商との共同行動がほとんどで、鹿行平和委員会の姿が見えにくい(鹿行)。
- ・活動が見えないと会員も増えない。平和の会単独の活動は少ないが諸団体との共同で、多くの活動や集会の開催などを取り組んでおり、少しは市民に見える(土浦)。
- ・活動は夏の戦争展だけです。また既存の団体との共同も発展しないため、町民にはほとんど知られていない(阿見)。
- ・核兵器廃絶の署名集めや学習会の開催など諸団体との共

同。戦争体験者との懇談の取り組みで、会員以外の新しい顔が見られるようになった。現在9条の会にむけて準備中(東海)。

- ・学習会、講演会を9条の会と平和の会が共同で取り組んでいるため、知名度はあると思う(筑西)。
- ・年に2回ぐらい楽しい集いを行っているが、市民にはほとんど見えないのでは(水戸西)。
- ・映画会を諸団体と取り組んだが、配布したチラシに開催団体を書かなかった。存在を示すために今後は注意をしたい(美和・緒川)。

行政との関わり

- ・今年の広島原爆記念式典に、中学生の平和使節団を派遣する予算が計上された(阿見)。
- ・平和行政で予算要望は大事だと思う(美和・緒川)。

5.3 憲法フェスティバル(水戸)の取り組みについて

- ・今年地元行事が5月30日の予定なので、水戸に主力を集中したい(土浦)。
- ・最低15人ぐらいは参加したい(内原・友部)。
- ・役員会に提案し15人ぐらいは参加したい(美和・緒川)。
- ・13～4人は参加できる(大田)。

仲間ふやし

- ・核廃絶の署名を持って訪問し、平和を守る運動に参加しませんかと誘う(鹿行)。
- ・軍事予算やなかでも米軍思いやり予算の無駄な点を学習し、一人一人が自分のものにして語りかけられるようにしたい(美和・緒川)。
- ・核兵器廃絶の署名を持って行けば、抵抗なく対話になるが、仲間ふやしにはつながらない(東海)。
- ・もっばら結び付きに頼っている(阿見)。

第2グループ 報告者：藤田 稜威雄

3/14は低気圧通過のため風雨強く、JR常磐線の一部不通・遅れというアクシデントあり。にもかかわらず、各地域より26名の方々の参加を頂きました。(特に電車の遅れの中、参加頂いた2名の女性に感謝、感謝)

第2グループで出された意見は次の通りです。

各地域の活動状況について：

- ・いま一つ元気が不足気味、マンネリがあるかも？(ひたちなか)
 - ・平和委員会は市民の中に溶け込んでいると感じています。四季を取り込んだ山菜・キノコの見分け方などの催しが会員・参加者の和やかな、打ち解けた雰囲気を作り出している。難しい話だけでは仲間づくりは…？(内原・友部)
 - ・平和活動をより積極的にしたいと考えていたので、今日の交流会での皆さんのお話を参考にしていきたい。(藤代)
 - ・昨年開催した「平和展」は、広く市民の皆さんに平和を訴えられたのでよかった。今年も開催の予定。(北茨城)
 - ・「平和委員会」「平和の会」・・・難しい会というように思われがちな面あり。(常陸大田)
- ⇒誰もが入会できる会の名称にこだわらない会のつもりだが、20年前の平和委員会再建の流れの中で名称が決まったもの。(事務局)

「かわら版」について：

「かわら版」は平和問題の学習、各地域の活動状況などを知るうえで重要。かわら版をみんなのものにしたい。(全員の共通認識)

2面へ

平和かわら版

No.528
月3回 発行
2009.3.25

平和新聞茨城版

発行：茨城県平和委員会

〒310-0912 水戸市見川5-127-281

Tel/Fax 029-251-2806

E-mail ibahei@amber.plala.or.jp



1面から

- ・内容が少し硬いかな？ 山菜・キノコ狩りなどの記事や各地域の活動状況が解る内容も良い。
- ・もう少し文字数を減らしイラスト、写真などを入れて親しみやすく 見やすい誌面づくりにしてほしい。
- ・難しそうな問題は、平和新聞に譲り、各地域の活動ニュースが把握できれば極力 紹介するようにしている。
- ・3回/月の発行は立派、継続してほしい。3回の発行内容に違いを出してもよいのでは？ 時事問題、学習会・地域の活動紹介など
- ・「かわら版」編集の規準のようなものを策定してはどうか。内容・寄稿方法など
- ・難解な用語などは解説文を加えるなど工夫して親しめるようにしてほしい。

平和委員会の知名度について

・市民の一割の方々に知って貰えれば、飛躍的な会員の伸びがあるのでは……。かつては公民館なども借りるのに苦労したこともあったが、今は、「平和展」や集会などでも借りられる。市役所・ロビーも借りられるようになった。自治体の協力を得られればよいのだが……。市の広報に載せて貰えれば……。市の係長クラスの方々の熱意や、職員組合の協力などが必要。

5月3日 護憲フェスタについて

- ・千波湖/はなみずき広場に1, 000名以上の人数を集めるのは困難。「九条の会」会員に働きかけをお願いしたい。
- ・チラシ配布を急いで欲しい。
- ・「九条の会」できたが纏まって参加できるか否かは未定。
- ・花みずき広場に一般の人が集まる。参加呼びかけの工夫をしてはどうか。(風船、綿あめの無料配布など)
- ・護憲フェスタのアドバルーン、チラシ配布、会場入り口の看板などもよいのでは。
- ・護憲フェスタ新聞意見広告：多くの賛同者を募りたい、協力のほどよろしく。

以上

北茨城 メール交信

ソマリア海賊の次は仮想敵国！？ 解釈改憲反対！

From: (柏木さんからのメッセージ)

◇アフリカ・ソマリア沖の海賊対策のために自衛隊の新法案が政府で組まれたようですが、艦隊への武器搭載、隊員の銃器携行使用を認める内容のようです。その法案がいまの衆参ねじれ国会で スンナリ通過してしまうようだったら、私たちは警戒感を強めるべきでしょう。

対海賊のためとはいえ、武器を搭載携行して、万が一の時の使用を許可するならば、今の憲法にはそぐわないから条項を削る、もしくは変えてしまおうという話が公然と出てきてしまうかもしれないのです。

ねじれ国会なのに、スンナリ通過させてしまうのは与党・野党を問わず改憲を進めようとしている動きが活発化している証拠で、この法案は海賊や、民間の商船の航行を妨害する存在に対してのみ、特別に行使する法律であり、憲法に定める”戦力保持の禁止”に反しないあくまでも“守るための政策”であることが前提であるべきはずですが、「海外に武器を搭載携行して行く以上は、憲法に定めている戦力保持の禁止は、現状に対して矛盾しており、条項の削除・改編を進めるべき」という動きになりかねないのです。

◇海賊に対して有効な法律があるならば、日本に対して不都合な動き脅威となる国に対しても法律を作るべきという話だってあり得るのではないのです。いつ解散するのかサッパリ解らない国会の状況ですが、前回のようナントカ劇場というものに踊らされることなく、冷静にそして憲法改悪反対の意思を強く持って、次の選挙に参加するようにしていきましょう。いまのゴタゴタ政治の原因は、マスコミに踊らされた私たちに責任があるんですから.....。

From: (藤田さんからの返信)

●海賊対応、世論の大多数は「政府の対応はやむを得ない。反対するほうがおかしい。」ということでしょうね。

自・公与党そして民主党が賛成ですから、怖いですね。「海外で堂々と武器を使わせる」という実績づくりが主眼ですから、恐ろしい。

かつての「安保反対！」運動のような盛り上がりが起こらなければならない状況と思うのですが、マスコミも政党、労組も”音なし”に近い。特にマスコミは抗議集会があっても記事にしない、掲載しない。

「平和の会」「九条の会」の声こそがこれからの主役になると考えて頑張りましょう。

9条の会ごか 結成1周年の集い 記念講演

「今こそ生存権保障(25条)

武力不行使(9条)の真価を！」

と き 4月18日(土) 午後1時半～3時半

ところ 五霞町江川・善照寺

講 師 田村武夫さん(茨城大学名誉教授)

主 催 9条の会ごか tel0280-84-0726

こんな替え歌が載っていました

下妻市 笠島 道子

♪ 1. アメリカ発の金融危機が おきた時から

政権維持はやぶの中

期待された経済対策 なにもできずに

支持率だけが落ちてゆく

私はやめぬ 替われる人いない

まんがオタク 漢字読めぬ

何が悪いか ああ麻生内閣 冬景色

♪ 2. ごらん あれも二世議員 出来が悪いと

多くの人が指をさす 思いつきで補正予算

出してみただけ 身内にケチをつけられる

解散しない 私は続けたい

公明までが政権ゆるす 辞めろとばかりに

ああ 麻生内閣 冬景色

本歌は、石川さゆり「津軽海峡冬景色」です。